

## 2018 年度カリグラファーズ・ギルド会員募集要項

カリグラファーズ・ギルド（以下ギルド）は1998年に、株式会社カリグラフィー・ライフ・アソシエーション（CLA）により、カリグラフィーと職業をつなげることを目標に立ち上げられ、2008年4月にCLAより独立し、協力関係のもと、会員が自主運営をする別組織となりました。現在の会員数は312名。カリグラフィーを職業としている者、それを目指す者、及び同等の高い意識を持ってカリグラフィーに関わっている者により構成されています。技術の向上、普及活動、会員相互の親睦を目的とし、作品展、ワークショップ、勉強会、活動支援、通信の発行などの活動を行っています。

入会ご希望の方は下記要項をご確認の上、お申し込みください。

### ●入会申し込み条件（以下の5つの条件を満たしている方）

1. カリグラフィーを職業としている方、それを目指す方、及び日本カリグラフィースクールのマスターコース修了など、前記と同等の高い意識を持ってカリグラフィーに関わっている方。
2. 入会審査のための提出物を提出できる方。  
「プロ」として通用する高い技術を身につけ磨いていく事を目指している団体のため、一定のカリグラフィのレベルと意欲が必要と考えています。文字の美しさとデザイン性を基準として審査させていただきます。
3. ギルド会員 1 名の推薦を得られる方。（推薦者は申込用紙推薦者欄に署名をお願いいたします。）
4. 次の5書体を修了している方。  
(1)イタリック (2)ゴシック系書体 (3)ローマンキャピタル  
(4)ファウンダーショナル（ローマンスモールレター） (5)カッパープレート
5. ギルドの活動に積極的に参加し、協力できる方。

### ●入会審査

#### 【提出物】

1. 規定作品：課題文章をイタリック体で作品にしたもの。（色・デザイン自由。B4 サイズ）
2. 自由作品：イタリック体以外の作品。（色・デザイン自由。B4 サイズ以下。カード・立体不可）
3. 小論文：ギルド入会目的や今後の活動に関する内容。（400～1000 字）

【課題文章】次ページ参照

【審査員】鈴木泰子（顧問）、松井康子（顧問）、成瀬 真弓（運営委員長）

【審査料】**3,000 円 2018 年 2 月 6 日（火）まで**に下記口座へお振り込みください。

郵便振込 00170-7-549866 受取人名義：カリグラファーズ・ギルド事務局

※通信欄に「入会審査料」と明記してください。

※作品提出の有無に関わらず、一旦お振込みいただいた審査料は返金いたしません。

【提出締切】**2018 年 3 月 7 日（水）必着**（締切日以降の受付はいたしません。）

【審査結果】3 月末日までに作品評価と共に返送いたします。

※審査は申込者、推薦者の名前は明かされずに行われます。

※審査料が未入金の場合は審査いたしません。

### ●提出方法

- ・提出物の裏面に名前ラベル（申込書下部のラベル）を貼ってください。
- ・着払い宅配便伝票を貼った封筒（作品返送用）を同封してください。

上記のものを申込書とともに事務局までお送りください。

カリグラファーズ・ギルド事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-9-6 松岡第二銀緑館 7F (株)CLA 内  
TEL/FAX:03-6228-7284 e-mail: info@calligraphers-guild.info  
<http://calligraphers-guild.info/>

< 課題文章 >

下記より1つを選び、規定作品（イタリック体）を制作してください。

The purest and most thoughtful minds are those which love colour the most.

John Ruskin

清く思慮深い心は色を愛する心である。

ジョン・ラスキン

\*\*\*\*\*

People must help one another ; it is nature's law.

"Fables" Jean de la Fontaine

人々はたがいに助け合わなければならぬ。これらは自然のおきてである。

ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ『寓話』

\*\*\*\*\*

To see the world in a grain of sand,  
And a heaven in a wild flower,  
Hold infinity in the palm of your hand,  
And eternity in an hour.

William Blake

一粒の砂に一つの世界を見  
一輪の野の花に一つの天国を見  
掌（てのひら）に無限を乗せ  
一時（ひととき）のうちに永遠を感じる。

ウィリアム・ブレイク

